

同志社文學・第9號

目次

愛蘭文學の特性に就いて

勝田孝興 (一)

十七世紀散文抄(譯)

石田憲次 (一八)

「月にある嶋」(ブレイク)

榎垣實 (二三)

Tennyson

Prof. Huntley (三三)

圓熟期に於ける近松の二傑作

橋詰光春 (五三)

巴里 エイゼンシュタインを聴く

溝田道雄 (七五)

Beowulf (抄譯)

瀧山徳三 (七九)

ポポマツクを食べた人に就いて(戯曲翻譯) 舟橋雄 (八六)

表紙・扉 ド・ラメアの詩集より

ボルト刻

編輯後記